

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 淡路谷隆久

平成28年7月1日

第79回二次電池第2部会を開催

平成28年6月3日、湯浅部会長（パナソニック（株））を議長に、第79回二次電池第2部会を開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認した後、湯浅部会長と淡路谷専務理事からの挨拶があり、続いて各委員会の代表から平成28年度におけるこれまでの活動報告がなされた。



1. 湯浅部会長挨拶

3月と5月に理事会があり、定置用リチウム電池の共同回収について報告した。理事会からは経営インパクトも大きく、検討を加速することの指示を頂いた。9月の理事会で検討内容を審議いただくので、関係各位にご協力をお願いしたい。



2. 淡路谷専務理事挨拶

理事会、総会で事業報告と計画について承認されたことを報告する。また来年3月ドイツ開催のCeBITについて経済産業省より協力要請があり、その対応について後ほど審議事項としたい。



3. 各委員会からの報告

各委員会より資料に沿って活動内容の説明がなされ、承認された。以下報告概要の項目番号は、報告資料に合わせてあり、欠番については省略している。

(1) 技術委員会

2. 各分科会等報告

<リチウム二次分科会>

- ・ IEC62902（電池識別表示）：CDの日本コメント案を確認。
- ・ IEC61960-4（コイン二次性能）：CD案をレビューし問題ないことを確認。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

- ・ IEC61951-1（ニカド）およびIEC61951-2（ニッケル水素）：対応するJIS C8705 およびJIS C8708 の改正対応中。
- ・ IEC62902（電池識別表示）：CDの日本コメント案を確認。

<PSE WG>

- ・ JIS C8712:2015が技術基準解釈の整合規格として採用されるよう活動中。
- ・ 「電気火災の抑制方策に関する検討部会」（全4回）の対応終了。
- ・ NITE の注意喚起プレスリリースの内容確認。クレームは入れなかった。

<LIB安全性技術WG>

- ・ IEC/TR62660-4（強制内部短絡試験の代替試

験）のセラミック釘挿試験をISに記載することは時期尚早であるとJARIに意見した。

- ・ FTA（内部短絡）を整備中。

<据置LIB分科会>

- ・ IEC 63056（蓄電システム用Li 二次電池の安全）：CD原案を6月に完成させる。
- ・ IEC62485-5（定置用LIB 組電池の安全）への対応：無害化させる方針。
- ・ JIS C8715-1（産業用Li 二次電池の性能・表示規格）：今年度中に改正案作成。
- ・ IEC 62902（電池識別表示）：CD の日本コメント案を検討。

<LIB蓄電システム WG>

- ・ 洪水時における定置用蓄電システムの対応：注意喚起文書をHPに掲載。
- ・ 定置用蓄電システムにおける震災後の二次災害防止に関する文書：HPに掲載。
- ・ 蓄電池設備に関する認定の手引き：リチウムイオン蓄電池がJEAで始めて認定審議されたが、問題点が見つかったため、JEAより見直し依頼が見込まれる。

<車載LIB-WG>

- ・ 駆動用を除く車載用電池の性能：2nd NP案を4月末にIECのCOへ提出済。
- ・ IEC63057（駆動用を除く車載用電池の安全）：10月までにCD原案を完成させる。

<産業用ニッケル水素分科会>

- ・ 本年度より、3社にて活動開始。
- ・ 産業用ニッケル水素電池の性能規格および安全規格：韓国と共同しNP案を作成したので、幹事に送付の予定。
- ・ 定置用蓄電池システムに用いるニッケル水素電池の性能・安全規格：上記規格と不整合があるので、韓国と協議して適宜対応してゆく。

(2) 国際電池規格委員会

1. IEC規格 SC21A

Plenary会議およびWG会議が12月5-8日にフランクフルトで開催予定。

- ①WG1 IEC60623 Ed5（制御弁付角形ニカド単電池）改訂：6月FDIS回付予定。産業用NiMH（単電池・組電池）の性能規格および安全規格：NWIP原案を日本主導で作成。
- ②WG2 IEC61951-1 Ed4（ニカド電池規格）改定：

6月FDIS回付予定。IEC61951-2 Ed4（ニッケル水素電池規格）改定：6月FDIS回付予定。

③WG3 IEC61960-3 Ed1（ポータブル機器用リチウム二次電池性能・表示規格）：6月FDIS回付予定。IEC61960-4 Ed1（コイン形リチウム二次電池性能・表示規格）：6月上旬にCD原案をSC21A幹事に送付予定。

④WG4 IEC62133-1（ポータブル機器用Ni系二次電池の安全規格）：6月FDIS回付予定。IEC62133-2（ポータブル機器用Li系二次電池の安全規格）：6月FDIS回付予定

⑤WG5 IEC62619（産業用Li二次電池の安全規格）：6月FDIS回付予定。IEC****（21A/603/RVN）（自動車駆動用を除くLi二次電池の性能）：2nd NP提出済み。IEC63057（自動車駆動用を除くLi二次電池の安全）・21A/598/NPが可決。IEC63056（蓄電システム用Li二次電池の安全）・21A/597/NPが可決。

⑥JMT18 IEC62281（リチウム電池の輸送の安全規格）Ed3：FDISに移行が決定。

2. IEC規格 その他のTC

①TC21/WG9 IEC62902（電池識別表示）：2nd CDへの移行が決定。

②TC21/WG10 IEC62485-5（定置用LIB組電池の安全）、IEC62485-6（駆動用LIB組電池の安全）：上記2件のプロジェクトに登録するエキスパートを決定。

③TC21/JWG69 IEC62660-3（自動車用LIB組電池の安全）：FDIS移行決定

3. ANSI規格 C18.4（環境規格）にOSHAに準拠したSDS作成基準を盛り込むことが決定。

4. 米国IEEE規格 IEEE1625の改訂版は2018年発行予定。

5. UL規格 IEC62133 Ed.2に整合したUL62133について改定の動き有り。

6. 中国携帯機器用LIB安全規格 定置用リチウムイオン電池のGB規格作成が開始。

7. インド強制登録制度 2017年3月31日まで延期するとの見解を得た。

(3) 普及促進委員会

3. 最近の活動内容

《普及促進委員会》

・政府への要望書H28年度版の作成 8月中旬以降に

経済産業省他へ提出する予定。

・蓄電システムに対する補助制度の獲得 経済産業省と意見交換を行った。

・現行制度に対する改善提案 具体的な要望は夏以降に実施予定。

《大形カスタムWG》

・「政府への要望書の改訂対応」に記載すべき項目出しを行い、文案作成中。

《法規WG》

・対象火気設備等に関する基準：Ni-MH電池の規制緩和は見送りとなった。

《広報WG》

・家製協発行「スマートライフおすすめBOOK」2016年度版の蓄エネ部分の原稿確認。

(4) 国際電池輸送委員会

2. 活動内容

(1) 第3回 UN Informal 会議（3/30-4/1 フランス ボルドー）

a) 合意事項5項目：定義、試験一覧表、サイクル数減、機器での試験など

b) 継続審議6項目：機器の定義、金属二次、組電池の構成、安全装置、損傷電池など

以上の結果を、第49回国連危険物輸送専門家小委員会（期間：6月27日～7月6日）にて審議をし、可決される事項は2019年1月から施行となる。

(2) ICAO 規則変更に関する会議：SAE G27会議 今後の新包装基準作成の主なポイント3項目

1) 外部からの燃焼（External fire）による試験基準について

2) 熱暴走の方法について

3) 熱暴走時のガス分析（総量と着火性）

(5) PL委員会

2. これまでの活動報告

(1) 表示ガイドラインの対応

「民生用小型二次電池及び産業用リチウム二次電池の安全確保のための表示ガイドライン」第6版発行

(2) 電気用品安全法に関する対応

事故情報報告ルールの見直し検討→議事8の審議事項

(6) 広報総合委員会

2. 活動報告

(1) キャンペーン・PR関係

- ①電池月間ポスター案決定
- ②みらいのでんちアイデアコンテストポスター案決定
- ③手づくり電池教室：7月～来年3月、全国37ヶ所の科学館等から応募あり

(2) 情報発信

- ①でんちフェスタ用パネルの改訂案を検討
- ②『WE LOVE DENCHI』『でんちミニ情報』改訂（誤飲注意のページ追加、他）
- ③ホームページ：随時更新
- ④機関紙「でんち」：毎月発行

(3) 展示会・イベント

- ①でんちフェスタinかごしま：8/27（土）開催

(7) 国際環境規制総合委員会

2. 地域別の報告事項

(1) 欧州

修正指令（2013/56/EU）について、ルーマニアを除くEU加盟27ヶ国が法制化を完了した。

(2) 北米

OSHAはPRBAの陳情に一定の理解を示し現在OSHAは見解書を公開していない（見解を翻したという事ではない）。なお表示やSDSの作成は個社対応としている。

(3) アジア・オセアニア地区

水俣条約国内法制化動向：情報提供ガイドラインに関して、再び事業者ヒアリングが実施される可能性。

中国版RoHS：生産と輸入を行う電器電子製品へ2016年7月1日より適用。

3. 冊子「世界の電池環境規制の状況」第9版 6月発行予定

(8) 工場環境委員会

1. 委員会報告

- (1) 各社の環境対応に関する情報交換

①ISO14001の維持・更新状況

②法令・条例対応関連

③地域貢献活動など

(9) 再資源化委員会

【再資源化委員会】

①ポータブル蓄電装置（モバイルバッテリー）は「電源装置」に該当するという政令解釈が経済産業省のHPに掲載され、資源有効利用促進法の対象となった。

②JBRC『回収量増加プロジェクト2015』の一環として行われた外部調査会社委託調査結果に関し報告をいただいた。

【定置用LIB分科会】

①電機工業会（JEMA）と連携し作成を進めてきたリサイクルマニュアル作成ガイドライン、各社からの改定案の集約を終え第一版の内容完成。

②情報通信機器課陶浪課長補佐を迎え、定置用LIB回収スキーム構築活動の進捗状況報告及び意見交換を実施。2018年には何らかの手立てが必要とのご意見。

③定置用LIB回収スキームに関し、共同の物流スキーム検討を開始、処理業者の選定に向けヒアリング実施中。

4. JBRC報告

1. 会員状況

・5月20日現在：317法人

2. 回収・再資源化状況（H27年4月～H28年3月）

- (1) 回収量：前年比 93%
- (2) 再資源化率（Li-ion） 39%
- (3) Li-ion Co系構成比 65%（減少傾向）

3. 回収・再資源化状況（H28年4月）

- (1) 回収量：前年同期比 135%

4. 主な回収強化活動

- (1) 回収拠点登録状況（H27実績）：新規1,466

5. 広報・イベント活動

- (1) イベント出展：8展示会で出展

平成28年度第1回一次電池部会を開催

平成28年6月8日、佐野部会長（ソニー）を議長に、平成28年度第1回一次電池部会を開催した。冒頭、佐野部会長よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り部会進行する旨の宣言がなされたのち、新委員の滝本委員（日立マクセル）の紹介があり、本人より挨拶がなされた。その後、専務理事の挨拶、事務局報告があった後、各委員会の代表者より活動報告があった。



佐野部会長



新委員の滝本委員（日立マクセル）

1. 淡路谷専務理事挨拶

熊本地震の後、経済産業省から救援物資の要請があり、各社に協力をいただいたことに、御礼を申し上げます。同時に、各社の工場被害やサプライチェーンの被害の調査依頼についてもご回答いただいた。最近は大きな災害が発生する毎に工場被害などの調査要請が来るので、引き続き協力をお願いしたい。

CeBIT（セビット／ドイツ国際情報通信技術見本市）は、元々は携帯電話、パソコン等に重点を置いていたが、最近はビックデータ、IoT、ITインフラ等が主体の見本市で、毎年3月にハノーバーで開催されている。GWのメルケル首相と安倍首相の会談時、セビットの協力要請があり、具体的には来年3月のセビットに、日本がパートナーカントリーを受けるこ

とが決定。今年の出展企業は、3,000社、そのうち日本は11社と少ない状況だが、上記経緯により、経済産業省から電池工業会へも協力要請があった。具体的な内容が決まれば、その都度情報を展開させてもらう。一次電池部会へも協力をお願いするかもしれないので、その際はよろしくお願ひしたい。



2. 審議事項

1) 各専門委員会の平成28年度活動経過報告について

(1) ボタン電池回収推進委員会

- * 平成27年度 ボタン電池回収実績（協力店数と回収量）
 - ・協力店数は年度末で前年比増。業態別では家電量販店が初めて減少。店舗統廃合の影響が出た。
 - ・回収量は、2桁増が続く。
- * 回収量増加の要因分析
 - ・稼働店（昨年度1回以上回収依頼のあったお店）の増加と稼働率の伸長。
- * 回収システムの円滑な運営とイレギュラー件数
- * 自治体からの問い合わせの増加。特に広報協力と処理方法関連が伸びており、水俣条約の国内法整備の影響とみられる。
- * 水俣条約を受けた国内法制化の動向
 - ・水俣条約の国内担保措置の構造、批准状況とEUの動向、情報提供ガイドラインなど。

(2) 器具委員会

- * 防犯ブザー規格SBA S 1602改定
 - ・標準化委員会に向けて、改正内容の最終確認を実施。
- * 防犯ブザー規格SBA S 1602の標準化委員会
 - ・5月26日（木）に開催。委員会での指摘事項を修

正し、第2回標準化委員会（8月上旬：書面審議）に諮る。8月下旬に改正規格を発行予定。

- * 電池器具表示に関するガイドライン（第4版）改定
 - ・次回以降の委員会にて内容を決定し、本年度にBAJホームページにアップ

(3) 資材委員会

- * 主要5材料（亜鉛・リチウム・マンガン・ニッケル・コバルト）の需給動向、価格動向確認
 - ・ニッケル、マンガン、コバルトについては、引き続き安定傾向であり、需給のタイト化は見られない。
 - ・リチウムは中国の需要増に加え、リチウム大手生産元の値上げ圧力もあり、上げ基調が懸念される。
 - ・亜鉛は需要堅調で若干のタイトありで、LME在庫も減少し価格上昇気味。
- * コンプライアンス遵守（下請法）に関する意見交換

(4) 消費者委員会

- * 有事発生時の乾電池及び携帯電灯供給対応
 - ・マニュアル第1版を3月10日に経産省情通課への説明。輸送について、原則、自社で運べるところまで運ぶ。
 - ・熊本地震の対応について、課題抽出を行い、今後に生かすべく議論を行う。
 - ・マニュアルの修正（第2版）に、輸送方法・配送先の修正や請求手続きの追加など
- * 海外製電池の分析
 - ・ディスカウント店などで店頭販売されている海外製のボタン電池を入手し、含有Hg量及び表示などの実態調査を行う。

(5) PL委員会

- * 2015年度事故事例集計
 - ・各社（6社）の事故事例を規定の手法で収集集計し、分析を行った。
- * 誤使用による事故の撲滅と製品安全文化定着活動
 - ・日本中毒情報センターの保健師・看護師向けに中毒情報の内容確認とその改定依頼。次回以降で改定依頼内容の協議を行い、中毒センターへ提案を行う。
- * 電池事故事例の情報解析
 - ・一次電池に関する電池事故事例を収集解析会員

外のNITE事故情報、消費者庁「消費者安全法の重大事故等に係わる公表」をチェックし、情報の共有化を図った。

(6) 技術委員会

1. 規格小委員会活動 (IEC関連)

5/17～19にアトランタで開催のIEC/TC35国際会議に出席し、下記審議を実施。

- 1) IEC60086-1 (一次電池通則) および60086-2 (一次電池個別製品仕様)
 - ・ 認証に関する Test Report Formは、日本から86-1と86-2の統合を提案し、賛成を得た。
 - ・ CRコイン電池の機種追加は、CR1632,CR2477の放電抵抗値およびMAD値の日本提案を実施。
- 2) IEC 60086-3 (時計用電池)
 - ・ ISO/TC114 (Renata) 提案の電池サイズ削除/追加と寸法公差見直しは、Ad Hocチームで見直す。86-2と86-3の寸法公差をあわせる必要は無いという方針になった。
- 3) IEC 60086-5 (水溶液系一次電池の安全性)

3月に回付されたFDISが承認された。(一部の不備は、editorialコメントが追加された。)

2. 規格小委員会活動 (JIS関連)

- 1) JIS C 8500 (一次電池通則) およびJIS C 8515 (一次電池個別製品仕様) の改正原案作成。
 - ・ JIS原案作成本委員会を2月19日に開催し、各改正案に対する審議を実施。
 - ・ JISC8500は、指摘/課題事項に対する修正案を作成し、委員会委員へ書面審議を依頼済み。
 - ・ JISC8515は、“表”の構成について大幅修正する必要ありとの指摘が出されたため、IEC 60086-2の箇条構成に合わせた変更を行う。6月初旬に委員会委員へ書面審議を依頼。
- 2) JIS C 8514 (水溶液系一次電池の安全性)

現在改正対応中のJIS C 8500、JIS C 8515のスケジュール、及び対応国際規格IEC 60086-5の改正進捗状況等を考慮して、区分B (2016年8月1日～2017年7月31日) で応募。

3. リチウム小委員会活動

- 1) IEC 60086-4 (リチウム電池の安全性)
 - ・ CDを審議し、日本からのコメントなし。アトランタ会議は日本に不利とならない結果で終了。
- 2) IEC 62281 (輸送中のリチウム一次・二次電池の安全性)

・ CDV文書の審議を行い、2箇所について軽微なコメントを提出。

3) 航空輸送関連/ ICAO対応

①輸送手引書一部改定のアナウンス

リチウム金属電池の航空輸送規則変更 (2016年4月1日施行) に伴い発行する「リチウム金属電池およびリチウムイオン電池の輸送に関する手引書」一部改定のお知らせは、国際電池輸送委員会にて決議されたアナウンス文書に同意することを確認。

②リチウム電池を安全に輸送するための包装基準検討

包装基準および評価試験方法に関するドラフトは、日本に不利な項目はなく、コメントは出さない。第2回原案作成会議は、6月13～17日開催予定で、二次電池第2部会と協力して対応。

4) 3V系リチウム一次電池使用機器の安全設計ガイドラインの改定

平成8年3月発行の本ガイドラインは、関連規格や規則の改定内容を反映しておらず、特に、誤飲の危険性、表示に関わる内容等が不足しているので審議を行い、改定案を作成。6月にBAJホームページからダウンロードできるように準備中。

4. リチウムコイン二次電池国際規格WG活動

リチウムコイン二次電池の新規格 (IEC61960-4) は、CD原案の審議を行い、日本案を各国プロジェクトメンバーへメール配信・意見確認を行った。CD案はプロジェクトチームで承認され、SC21A幹事、議長にCD案を送付し、CD回付を進める点を合意した。今後、6月中にCDが回付され、12月初めにフランクフルトで行われるIEC/SC21A会議で審議される。

5. リチウムコイン電池の誤飲事故対策

(誤飲対策セルWG/誤飲対策パッケージWG)

1) NEMA-BAJ会議の開催

米国からのセル安全対策の要望を踏まえ、3月23日に東京にて、NEMAメンバー (3名) との会合を開催。誤飲対策セルWGから、ハム試験による電食反応速度の測定法 (基準) 案、ならびに、改善に向けた暫定目標 (現行から反応速度1/2化) を提示し、一定の理解を得た。今後2016年秋を目途に、①医学的見地を含めた改善目標値の検討、②同測定法による1.5V系アルカリボタン電池の評価 (リスク把握)、についてBAJ側で継続することを合意。また、誤飲対策パッケージWGが

検討中のチャイルドレジスタンス・パッケージのガイドライン案について共有説明を実施。

2) 誤飲対策セルWG活動（NEMA会議以降～）

- ・医学的見地を含めた目標値の設定は、東京慈恵会医大の小児外科の先生方に協力を仰ぐ。6月末に子豚の食道で模擬実験を行い、我々の提案したハム試験との相関性を確認検証。
- ・米国要望を踏まえ、1.5V系アルカリボタン電池の評価を各社で分担・推進。φ11.6mmのLRやSR電池でも、同サイズの3V系リチウムコイン電池とほぼ同じ速度で反応が進み、リスクは大差ない事が判明。（アトランタ会議で、NEMAメンバーへ報告）
- ・上記のアルカリボタン電池の結果から、今後、電池サイズへの見解を整理する必要がある。慈恵会医大にお願いをし、幼児食道の寸法データ収集や、これを模擬したチューブの準備を進めてもらっている。

3) 誤飲対策パッケージWG活動（NEMA会議以降～）

- ・ガイドラインに記載する数値、判断基準等の協議～仮決定までを実施。今後、各社でサンプル作製と検証を行い、最終決定する方針を合意。2016年10月にガイドラインを発行予定。
- ・対策パッケージは、会員各社はH28～H29年度中に導入予定。ガイドラインの正式発行前に難開封パッケージが導入され、市場が混乱することを防ぐため、BAJのホームページに「コイン形リチウム一次電池のパッケージに関するお知らせ」を6月1日に掲載。

※米国側の関連情報（NEMA会議、ならびにアトランタ会議で発信）

米国では図の誤飲防止ピクトグラムを検討し、NEMAによる消費者の理解度テストでは高得点を獲得。CPSCもこの内容を理解し、ANSIで年内に規格化予定。IEC/ISOへこのピクトグラムを展開するには、ルールに沿っていない部分がある。（禁止マークはあらゆるグラフィックの上にデザインする必要あり）この課題を米国側へ伝え、今後、連携して対応を協議していく。

(7) 環境対応委員会

1. 水銀使用製品に関する環境省との打合せ

中環審の「水銀廃棄物適正処理検討専門委員会」は、経産省や業界が参加出来ず、照明工業会開催で

環境省と「水銀使用製品産業廃棄物」の指定に関して情報交換を実施。

2. 水俣条約 国内法制化対応（情報提供ガイドライン）

水俣条約対応技術的事項検討会の答申を踏まえ、上部機構である産構審・中環審合同会合が、7月1日と8月17日に開催予定。このどちらかで情報提供に関する事業者ヒアリングが実施される見通し。

3. 水銀使用製品の情報提供に関する自主ガイドラインの策定

環境省が策定した「水銀使用製品の適正分別・排出の確保のための表示等情報提供に関するガイドライン」を踏まえ、電池工業会の要望を盛り込んだ自主ガイドラインを策定中。

4. 水銀含有ボタン電池の溶出試験準備

水銀含有のボタン電池を土中に埋めた場合を想定した水銀溶出試験を行う。会員企業より①空気亜鉛電池、②アルカリマンガン電池、③酸化銀電池を各2社ずつサンプル供出し、外部分析機関で実施。結果は6月中に判明する予定。

5. H28年度の活動スケジュール立案

平成28年度の活動として、水銀規制法制化対応の他、海外無水銀アルカリボタン電池安全性評価のガイドライン化と電池分別の自治体調査計画を年間スケジュールに落とし込んだ。

(8) 国際環境規制総合委員会

*地域別（欧州／北米／アジア／中南米）の環境規制状況アップデート

*「世界の電池環境規制状況」第9版を6月中に発行し、委員に配布する。

(9) 広報総合委員会

*キャンペーン・PR関係

- ・電池月間ポスター案決定／みらいのでんちアイデアコンテストポスター案決定／手作り乾電池教室に37か所からの応募あり

*情報発信

- ・パネル改訂／WE LOVE DENCHIの改訂（誤飲に注意のページ追加、他）／ホームページ更新／機関紙「でんち」発行

*展示会・イベント

- ・でんちフェスタinかごしま：8/27（土）
- ・でんちフェスタ：11月12日（土）
- ・手作り乾電池教室（7月～3月）

平成28年 6月度の電池工業会活動概要

| 部会 | 月度開催日 | 委員会・会議 | 主な審議、決定事項 |
|--------|----------|-----------------------|---|
| 特別会議、他 | 1日(水) | 国際環境規制総合委員会 | 地域別規制動向アップデート、海外出張計画、他。 |
| | 23日(木) | 広報総合委員会 | でんちフェスタinかごしま、パネルの改訂、他。 |
| 二次電池部会 | 2日(木) | 用語分科会 | SBAS 0402/ 0406bの改正審議、「形・型」の取扱審議、他。 |
| | 3日(金) | JIS D 5301 ワーキンググループ | JIS D 5301 改正内容の審議。 |
| | 3日(金) | 自動車鉛分科会 | IEC60095-1.-6.-7 規格改正審議。 |
| | 6日(月) | 技術委員会 | SAB規格改正審議、他。 |
| | 8日(水) | JIS C8704 改正ワーキンググループ | JIS C 8704改正審議。 |
| | 13日(月) | 据置鉛分科会 | SBA規格審議。 |
| | 17日(金) | 充電器分科会 | 分科会資料-01、-09の改正審議、他。 |
| | 21日(火) | JIS C8704 改正ワーキンググループ | JIS C 8704改正審議。 |
| | 22日(水) | 小形鉛分科会 | SBA規格改正、IEC規格審議。 |
| | 23日(木) | 産業用電池リサイクル委員会 | 広域認定変更申請の状況審議、他。 |
| | 24日(金) | 電気車鉛分科会 | SBA S 0803、G 0807/0808 改正審議、他。 |
| | 24日(金) | 用語分科会 | SBA S 0402/0406の改正審議、「形・型」の取扱審議、他。 |
| | 28日(火) | 環境委員会 | OSHA見解への対応審議、他。 |
| | 二次電池第2部会 | 3日(金) | 二次電池第2部会 |
| 10日(金) | | 再資源化委員会 | 小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。 |
| 21日(火) | | LIB安全性技術ワーキンググループ | 内部短絡試験に関する対応審議。 |
| 23日(木) | | 車載LIB ワーキンググループ | 非駆動用LIBのIEC規格策定。 |
| 24日(金) | | 国際電池輸送委員会 | 危険物輸送の国際会議に関する対応審議。 |
| 27日(月) | | リチウム二次分科会 | 電安法の整合規格整備に関する文書(改訂版)についての検討。 |
| 一次電池部会 | 1日(水) | 規格小委員会 | IEC60086シリーズの検討。JIS C 8500及びJIS C 8515改正審議、他。 |
| | 2日(木) | 技術委員会 | 各小委員会及びWGの活動報告。告知文及びガイドラインの審議結果、他。 |
| | 3日(金) | リチウム小委員会 | IEC 60086-4、62281の検討。リチウム電池輸送規制関係、他。 |
| | 3日(金) | 消費者委員会 | 救急支援物資対応の検討。 |
| | 8日(水) | 一次電池部会 | 各委員会からの報告および審議。 |
| | 17日(金) | 器具委員会 | 電池器具安全確保のための表示に関するガイドラインの改訂について。 |
| | 22日(水) | 誤飲対策パッケージワーキンググループ | ガイドライン案の内容確認、策定スケジュール検討。 |
| | 23日(木) | 誤飲対策セルワーキンググループ | 各社での試験結果の共有、東京慈恵会医大での試験内容等について協議。 |

4月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2016年4月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

| | 単 月 | | | | 1月～当月累計 | | | |
|-------------|---------|--------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 |
| 全電池合計 | 362,519 | 63,122 | 115% | 110% | 1,414,509 | 283,651 | 105% | 104% |
| 一次電池計 | 237,834 | 9,088 | 109% | 107% | 840,362 | 30,118 | 104% | 105% |
| 酸化銀電池 | 60,391 | 1,045 | 98% | 94% | 240,894 | 4,201 | 94% | 90% |
| アルカリ乾電池計 | 95,371 | 4,709 | 116% | 119% | 295,982 | 13,432 | 110% | 117% |
| 単 三 | 50,596 | 2,083 | 118% | 117% | 158,682 | 6,203 | 111% | 116% |
| 単 四 | 29,785 | 1,352 | 124% | 137% | 91,664 | 3,717 | 113% | 125% |
| その他 | 14,990 | 1,274 | 97% | 107% | 45,636 | 3,512 | 104% | 110% |
| リチウム電池 | 82,072 | 3,334 | 110% | 97% | 303,486 | 12,485 | 106% | 100% |
| 二次電池計 | 124,685 | 54,034 | 130% | 111% | 574,147 | 253,533 | 107% | 104% |
| 鉛電池計 | 2,226 | 11,508 | 98% | 99% | 10,592 | 61,174 | 99% | 105% |
| 自動車用 | 1,650 | 7,457 | 99% | 98% | 7,959 | 36,997 | 101% | 106% |
| その他の鉛蓄電池 | 576 | 4,051 | 94% | 101% | 2,633 | 24,177 | 95% | 103% |
| アルカリ蓄電池計 | 41,492 | 13,418 | 90% | 93% | 167,051 | 59,827 | 96% | 97% |
| ニッケル水素 | 35,758 | 12,446 | 93% | 95% | 143,658 | 55,327 | 101% | 100% |
| その他のアルカリ蓄電池 | 5,734 | 972 | 75% | 73% | 23,393 | 4,500 | 71% | 72% |
| リチウムイオン蓄電池計 | 80,967 | 29,108 | 171% | 128% | 396,504 | 132,532 | 113% | 107% |
| 車載用 | 30,680 | 16,187 | 521% | 142% | 177,845 | 77,499 | 111% | 108% |
| その他 | 50,287 | 12,921 | 121% | 115% | 218,659 | 55,033 | 115% | 106% |

4月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2016年4月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

| | 単 月 | | | | 1月～当月累計 | | | |
|------------|---------|--------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|
| | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 | 数量 | 金額 | 数量 前年比 | 金額 前年比 |
| 全電池合計（輸 出） | 197,772 | 36,437 | 124% | 111% | 809,048 | 152,897 | 111% | 100% |
| 一次電池計 | 103,020 | 2,677 | 106% | 94% | 359,501 | 9,587 | 106% | 94% |
| マンガン | 0 | 0 | 0% | 0% | 1 | 7 | 1% | 33% |
| アルカリ | 4,073 | 68 | 172% | 109% | 8,052 | 183 | 101% | 80% |
| 酸化銀 | 45,757 | 539 | 107% | 95% | 160,664 | 2,017 | 100% | 88% |
| リチウム | 53,031 | 2,026 | 102% | 94% | 190,428 | 7,229 | 112% | 102% |
| 空気亜鉛 | 127 | 2 | — | — | 322 | 4 | 239% | 236% |
| その他の一次 | 32 | 42 | 227% | 84% | 34 | 148 | 45% | 27% |
| 二次電池計 | 94,752 | 33,760 | 152% | 113% | 449,548 | 143,310 | 114% | 101% |
| 鉛蓄電池 | 178 | 1,104 | 107% | 105% | 671 | 4,334 | 105% | 104% |
| ニカド | 3,433 | 322 | 63% | 65% | 13,108 | 1,150 | 60% | 55% |
| ニッケル鉄 | 0 | 0 | — | — | 0 | 0 | 0% | 0% |
| ニッケル水素 | 13,256 | 6,126 | 115% | 96% | 52,104 | 23,132 | 126% | 108% |
| リチウムイオン | 73,074 | 20,481 | 172% | 145% | 360,278 | 92,965 | 113% | 116% |
| その他の二次 | 4,811 | 5,727 | 178% | 74% | 23,386 | 21,728 | 200% | 64% |
| 全電池合計（輸 入） | 117,187 | 10,588 | 108% | 86% | 452,775 | 51,373 | 106% | 109% |
| 一次電池計 | 110,074 | 1,638 | 109% | 88% | 422,093 | 6,876 | 106% | 89% |
| マンガン | 12,193 | 122 | 118% | 100% | 55,903 | 593 | 137% | 101% |
| アルカリボタン | 3,012 | 34 | — | — | 14,150 | 119 | — | — |
| アルカリその他 | 76,391 | 998 | — | — | 281,361 | 3,893 | — | — |
| 酸化銀 | 230 | 6 | 69% | 70% | 811 | 24 | 86% | 86% |
| リチウム | 11,518 | 372 | 80% | 63% | 45,801 | 1,746 | 90% | 77% |
| 空気亜鉛 | 6,730 | 104 | 171% | 136% | 23,962 | 372 | 126% | 97% |
| その他の一次 | 1 | 3 | 10% | 8% | 105 | 130 | 436% | 40% |
| 二次電池計 | 7,113 | 8,950 | 99% | 85% | 30,682 | 44,497 | 106% | 113% |
| 鉛蓄電池 | 587 | 2,502 | 112% | 102% | 2,401 | 10,472 | 94% | 95% |
| ニカド | 71 | 97 | 60% | 65% | 409 | 592 | 82% | 82% |
| ニッケル鉄 | 0 | 0 | — | — | 0 | 0 | 93% | 60% |
| ニッケル水素 | 1,724 | 440 | 91% | 83% | 8,586 | 2,030 | 115% | 99% |
| リチウムイオン | 4,633 | 5,016 | 116% | 78% | 17,844 | 26,919 | 108% | 127% |
| その他の二次 | 97 | 894 | 15% | 99% | 1,442 | 4,485 | 72% | 107% |

4月度地域別財務省貿易統計

(2015年4月)

単位：百万円

一次電池

| 輸 出 | 合 計 | アルカリ | マンガン | 酸化銀 | リチウム | その他 |
|-------|-------|-------|------|-----|-------|-----|
| 東南アジア | 1,376 | 32 | 0 | 492 | 846 | 6 |
| 欧 州 | 543 | 6 | 0 | 7 | 527 | 3 |
| 北 米 | 665 | 28 | 0 | 40 | 564 | 33 |
| そ の 他 | 92 | 2 | 0 | 0 | 89 | 1 |
| 合 計 | 2,677 | 68 | 0 | 539 | 2,026 | 43 |
| 輸 入 | | | | | | |
| 東南アジア | 1,481 | 1,023 | 122 | 6 | 330 | 1 |
| 欧 州 | 113 | 0 | 0 | 0 | 9 | 104 |
| 北 米 | 38 | 8 | 0 | 0 | 28 | 2 |
| そ の 他 | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| 合 計 | 1,638 | 1,031 | 122 | 6 | 372 | 106 |

二次電池

| 輸 出 | 合 計 | 鉛蓄電池 | ニカド | ニッケル水素 | リチウムイオン | その他 |
|-------|--------|-------|-----|--------|---------|-------|
| 東南アジア | 13,755 | 519 | 89 | 1,521 | 6,879 | 4,746 |
| 欧 州 | 7,942 | 187 | 48 | 2,406 | 4,980 | 322 |
| 北 米 | 11,507 | 201 | 185 | 2,075 | 8,400 | 646 |
| 中 米 | 131 | 58 | 0 | 1 | 65 | 7 |
| そ の 他 | 425 | 139 | 1 | 123 | 156 | 7 |
| 合 計 | 33,760 | 1,104 | 322 | 6,126 | 20,481 | 5,727 |
| 輸 入 | | | | | | |
| 東南アジア | 7,035 | 2,014 | 37 | 400 | 3,806 | 778 |
| 欧 州 | 429 | 334 | 10 | 9 | 52 | 24 |
| 北 米 | 1,440 | 121 | 50 | 29 | 1,148 | 91 |
| 中 米 | 33 | 32 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| そ の 他 | 13 | 1 | 0 | 2 | 10 | 0 |
| 合 計 | 8,950 | 2,502 | 97 | 440 | 5,016 | 894 |